

# 輪

新潟大学附属特別支援学校  
学校便り 第482号  
令和3年10月8日発行

## 「今」だからできる授業づくり、「今」だからできる研究会

研究主任 唐沢 百合花

当校は、「今を、豊かに生きる子供～資質・能力を育成する『やりがい』のある授業づくり」という研究テーマを設定し、3年間の研究に取り組んできました。最終年次となる今年度は、これまでの成果を活かした、統合的な授業づくりを行います。研究のキーワードとなる「やりがい（期待感・手応え・充実感）」を授業づくりの中心に据えつつ、「今」の時代のニーズや、子供たちの「今」の姿から、各学部で研究テーマを設定しています。今年度1学期に行った授業実践の内容をここでご紹介します。

### 小学部 遊びの指導／生活単元学習「人とのつながり」

友達や教師が一体となって活動に取り組む楽しさを共有できる空間や状況づくりにこだわり、学習活動の中でかかわる場面を意図的に設定しました。

#### 遊びの指導「カラーボールで遊ぼう」

“テント”という空間を効果的に使って、カラーボールを使った遊びを行いました。天井から大量のカラーボールが降ってきて、子供たちは先生に大注目でした。



#### 生活単元学習「お客さんを乗せて一緒に楽しもう！スーパー3組バス会社」

バスを模した大型遊具に乗って、ダイナミックに活動しました。道中、動物を見つけて手を振ったりカラスの大群に襲われて逃げたりするなど、みんなで一体となって楽しみました。



### 中学部 社会生活「家庭生活への興味・関心の“入口”」

「掃除」「洗濯」「調理」「買い物」などの家庭生活に関する事柄を題材として扱います。子供が「おもしろい！」「やってみていい！」と思い、主体的な取組につながるように、子供のどんな思いを題材の“入口”とするか吟味し、授業を構想しました。

#### 社会生活 A 「目指せミッションクリア！～買い物チャレンジ！～」

「お店の中から商品見付けるの、楽しい！」という子供の思いを「買い物」への興味・関心の“入口”とし、「買い物」の数ある工程の中から、「店内で商品を探すこと」を指導内容の中心としました。本物そっくりの模擬店で、生徒は意欲的に学習に取り組みました。



#### 社会生活 B 「混ぜて、焼いて、温めて！調理できたよ！」

「焼く（温める）ってこういうことか！」という思いを「調理」への興味・関心の“入口”とし、「調理」の中から「焼く」「温める」などの行程に焦点を当てました。ホットプレートや電子レンジなど、どこの家庭にもある調理家電を使い、どの生徒も意欲的に取り組みました。



## 高等部 職業生活 「より良く働く力」

高等部では、これから社会に出ていく生徒たちにとって「より良く働く力」を身に付けさせたいと考えています。より良く働くためには、「周りの人とかかわり」が必要だと捉え、その中でいろいろな人と出会い、知って、かかわる機会を意図的に設定し、働くことをしっかりと教えました。

高等部 1 年生 「地域の人とかかわりながら仕事をしよう」

西大畑地区で、依頼を受けて清掃する作業を行い、その中でいろいろな人と出会う機会を設定しました。依頼主やご近所さん、すれ違う人などと挨拶をしたり清掃の出来について話をしたりしながら作業をする中で、より質の高い作業を目指して取り組むことができました。



## 通級指導教室 「自分に合った学び方で進んで学習に取り組む」

意欲的に学習に取り組めるような 50 分間の授業づくりを行います。今年度は「書く」ことに焦点を当て、少人数指導を通して、子供同士がかかわりながら楽しく主体的に取り組める授業を構想しました。

「通級クイズ SHOW」

正解数を競ったり、協力して問題を解いたりする活動を通して、「書く」ことに意欲的に取り組む姿をねらいました。友達の間での取り組み様子や取組方法を参考に、タブレット端末で漢字を調べたり、片仮名表を頼りにフリップボードに記入したりして、進んで取り組むことができました。



2 学期も引き続き、新しい授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。

12 月 3 日（金）には、2 年ぶりに特別支援教育研究会を開催し、全国に研究の成果を発信します。

コロナ禍ではありますが、「今」どのような形で研究発信ができるか考え、初の試みとなる、対面とライブ配信による『ハイブリッド型』での開催を予定しています。学校ホームページやフェイスブックも随時更新し、研究内容、研究会についての情報を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

HP ホームページ



Facebook



YouTube

